



## キリン食生活文化研究所

2018年7月24日  
レポート vol.73

---

### ～あなたのくらしのアンケート～ 誰かに自分の力を貸す

# サマリー

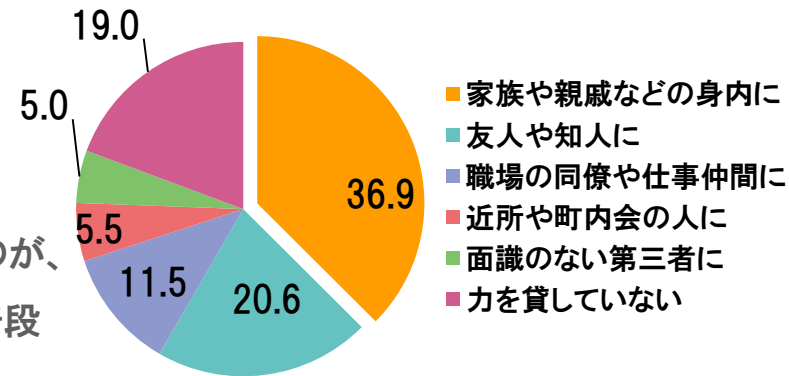
## あなたは、最近一年間で誰にどんな力を貸しましたか？

### 自分の時間や能力や経験を使って稼ぐサービスへの意識も聞いてみました。

Q.最近一年間で誰かに力を貸したことがありますか？

キリン食生活文化研究所は、「誰かに力を貸す」について調査を実施(2018年3月6日～3月13日、全国、ウェブ調査)、男女20～69歳 計12,691名の方の回答をまとめました。

最近一年間で誰かに力を貸した経験がある人は、全体では8割を超えています。この1年間で力を貸した相手で最も多かったのが、男女共に「家族や親戚などの身内」で全体で37%。世代別では、普段良く接する相手の違いがあらわれていて、若年層は「友人知人」や「職場や仕事仲間」に力を貸すことが多いようです。



力を貸したことに対して、実際に金銭的な報酬をもらっているケースは少なく、約8割の方は無償で、特に女性は「仕事仲間や同僚」の一部から以外は、お金を受けとることが少ないことが分かりました。

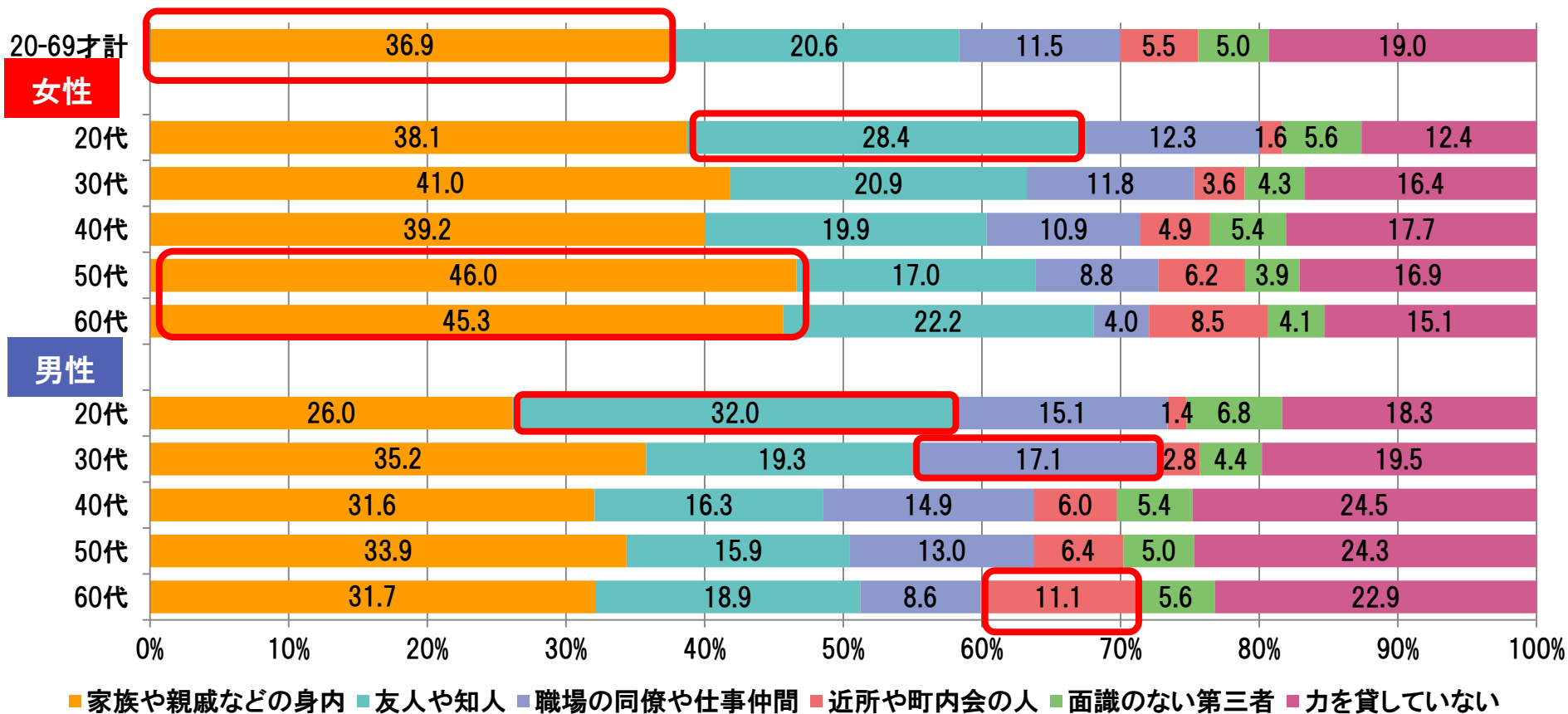
現在「お金を受けとっていない人」に対して、仮に自分の力に値段をつけてもらったところ、1回あたり2万円以上という意見も見られ、誰かに自分の力を貸せることで稼ぐサービスを聞いたところ、魅力を感じる人も多くいました。このレポートが、自分の力を使った新しい働き方について考えるきっかけになればうれしいです。

## Q.誰に力を貸したことが印象に残っているか？（性年代別）

この1年間で力を貸した相手に最も多かったのが、男女共に「家族や親戚などの身内」で全体で37%。  
性年代別の特徴としては、50-60代女性は身内が多く、若年層は「友人や知人」、「職場や仕事仲間」、  
60代男性の「近所や町内会の人」など、普段よく接する間柄の相手に力を貸している。

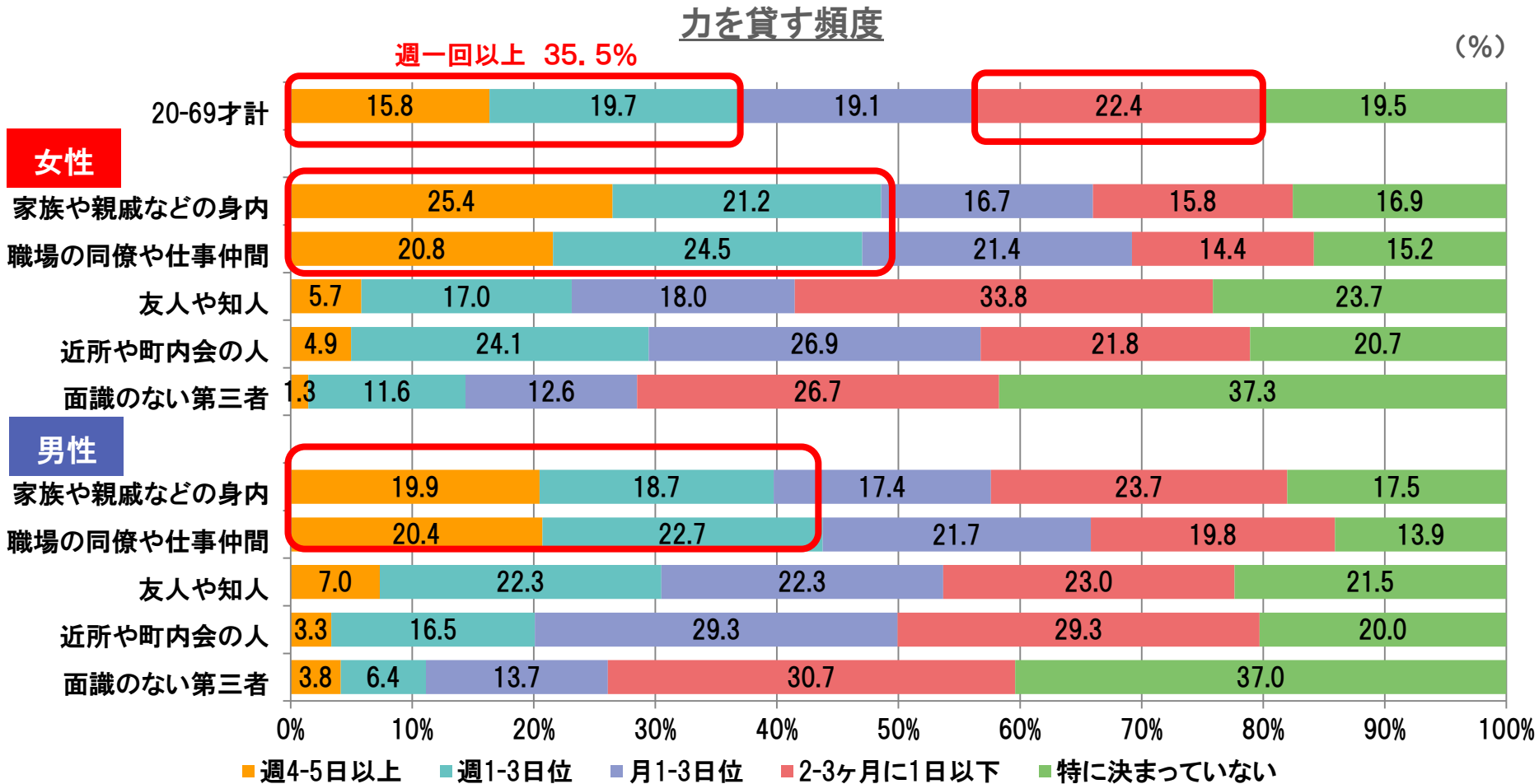
力を貸した相手

(%)



# Q.誰にどれぐらいの頻度で力を貸しているか？（性別相手別）

回答した「この1年間で力を貸したこと」の頻度は、「2-3カ月に1日以下」が最も高く22%。一方で、「週4-5日以上」「週1-3日位」を合わせると35%となっており、頻繁に力を貸している人も多い。力を貸す相手別では、男女共に「家族や親戚などの身内」や「職場の同僚や仕事仲間」に、頻繁に力を貸していることが多い。



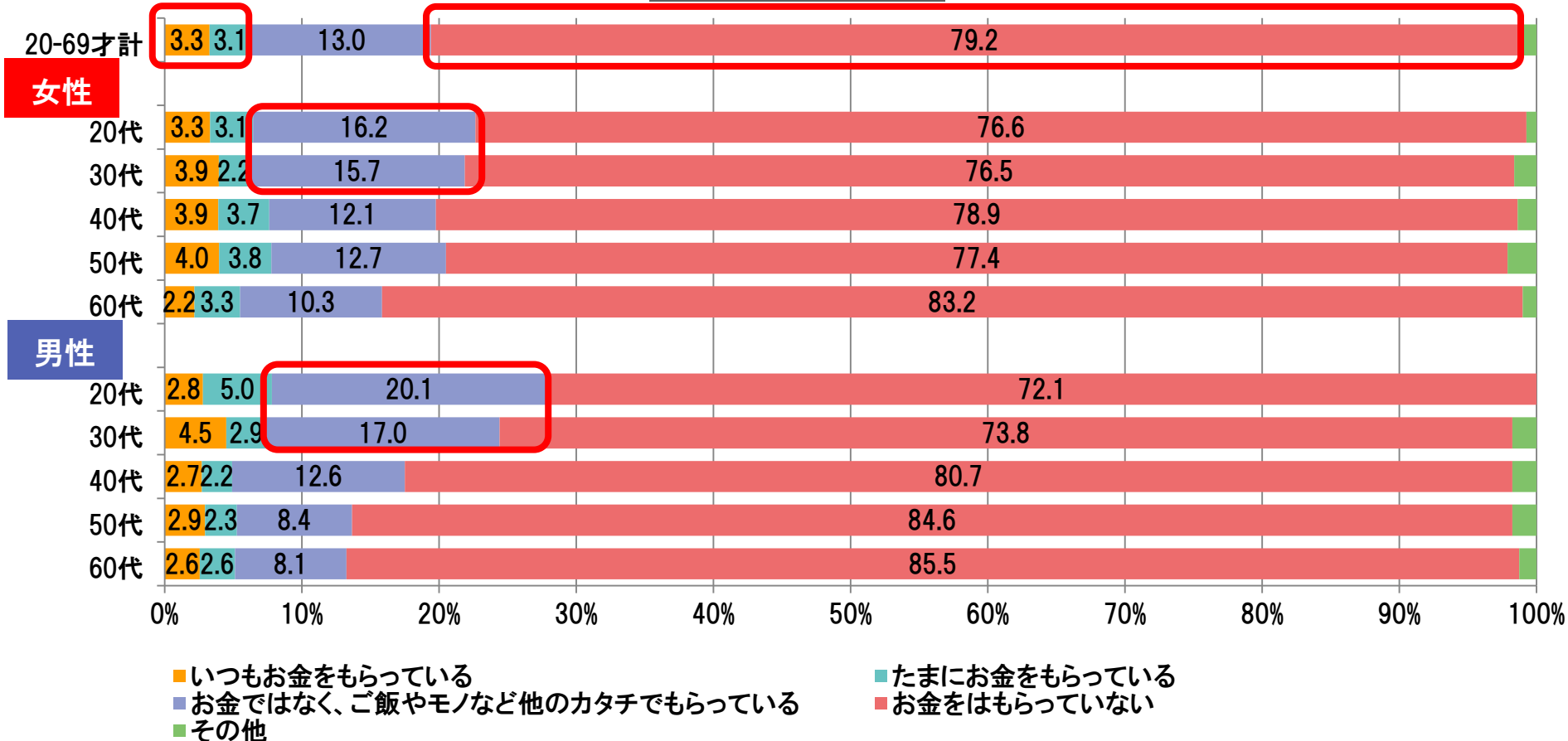
# Q.対価として金銭的な報酬をもらっているか？（性年代別）

金銭的な報酬をもらったことがあるのは、全体で6%と少なく、約8割の人は無償で力を貸している。また、若年層になるほど直接的なお金ではなく、ご飯やモノなど他のカタチで対価をもらっている人が他の年代と比べて多い。その他、「愛情」「笑顔」「駐車場の雑草取り」などを対価として受けとっているという回答も見られた。

お金をもらったことがある(計) 6.4%

力を貸すことの対価

(%)

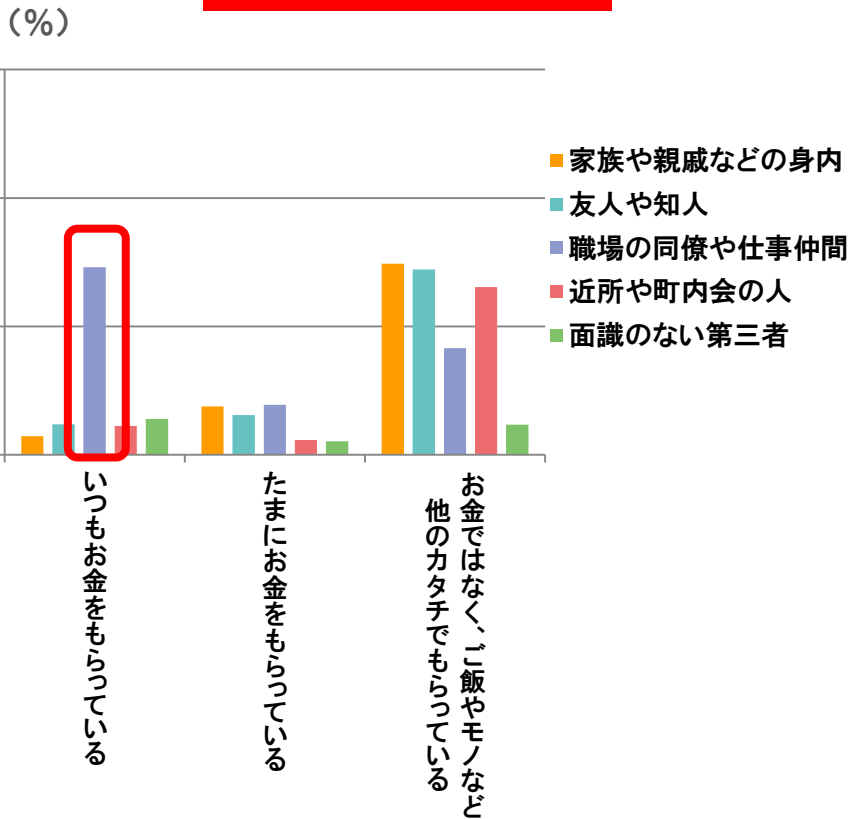


## Q.対価として金銭的な報酬をもらっているか？（相手別）

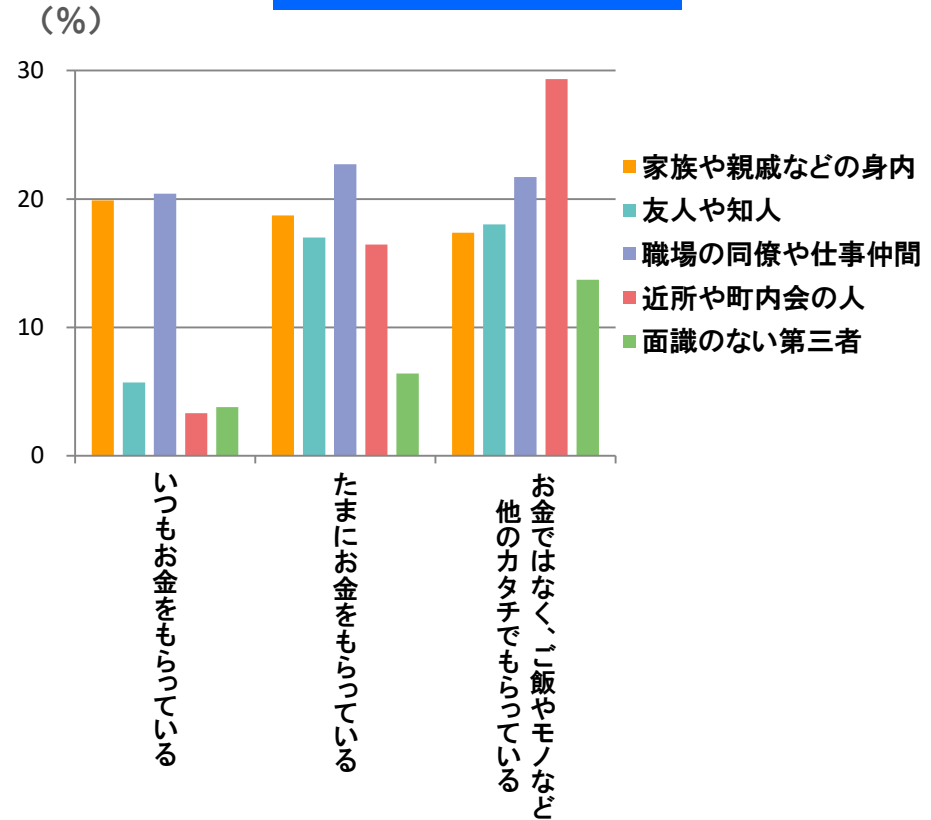
力を貸した相手別では、女性が「職場の同僚や仕事仲間」から「いつもお金をもらっている」と15%の人が回答した以外は、たとえ身内とはいえ金銭の受け渡しが発生するケースが少ないのに対し、男性は女性よりも金銭による報酬や金銭以外の対価も抵抗なくやりとりをしている。

### 力を貸すことの対価

女性



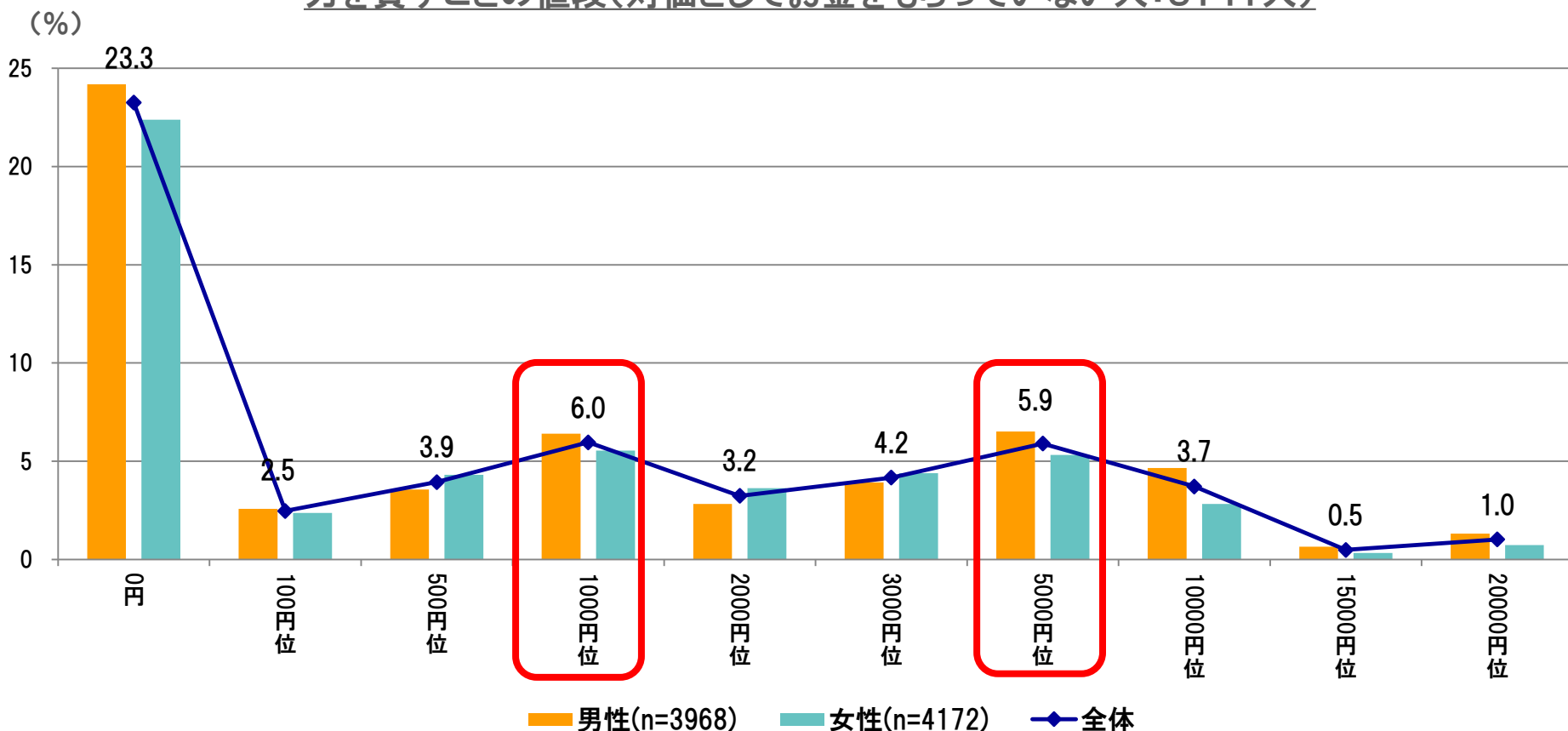
男性



## Q.自分が力を貸していることにあえて値段をつけるとしたら？（男女別）

対価としてお金をもらっていない人に対して、あえて自分の労働に値段をつけてもらったところ、「0円」と回答する人が最も多い。一方で、1回あたりの対価で値付けをした人は、「1000円位」「5000円位」がそれぞれ6%と高く、100円から20000円までバラつきが見られた。

力を貸すことの値段(対価としてお金をもらっていない人:8141人)



## Q.自分が力を貸していることにあえて値段をつけるとしたら？（自由回答）

自己申告の値付け別に、「力を貸したこと」で実際やっていることをみると、1回あたりの金額が高いほど、自分ならではの専門性を生かして長期間サポートした回答が多く見られた。また、1回あたり500円以下については、スポットで困っている近所の人や友人に力を貸しているという記述が多い。

### 力を貸した事（お金はもらっていないが値付けした人の自由回答）

建築士として友人の家のリフォームに力を貸した。(30代男性)

20000円以上

起業の手伝いをしてくれと頼まれてノーギャラで必死に働いた。(20代女性)

インターネット環境構築 (40代男性)

5000円

義母の代わりにお墓を掃除。(40代女性)

昇段審査対策を伝授 (50代男性)

ネパール人の友人から頼まれて結婚証明書や身元証明書を作成(40代女性)

旅行中のペットの面倒をみる(30代男性)

1000円

地域委員として通学路の安全を守るパトロールなどを行った。(40代女性)

隣の人が、カーテンレールが壊れてしまって困っていたので修繕した。(40代男性)

失恋の痛み分かち合い。(50代女性)

就活のESを添削してあげた(20代男性)

500円

友達のバイト先でノルマがあるらしいのでたくさん買ってあげた。(20代女性)

庭木を切ってあげた(50代男性)

友達がインフルエンザになり、毎日看病にいった。(60代女性)

友達の車がバッテリーがあがって動けなくなったので助けに行った(20代男性)

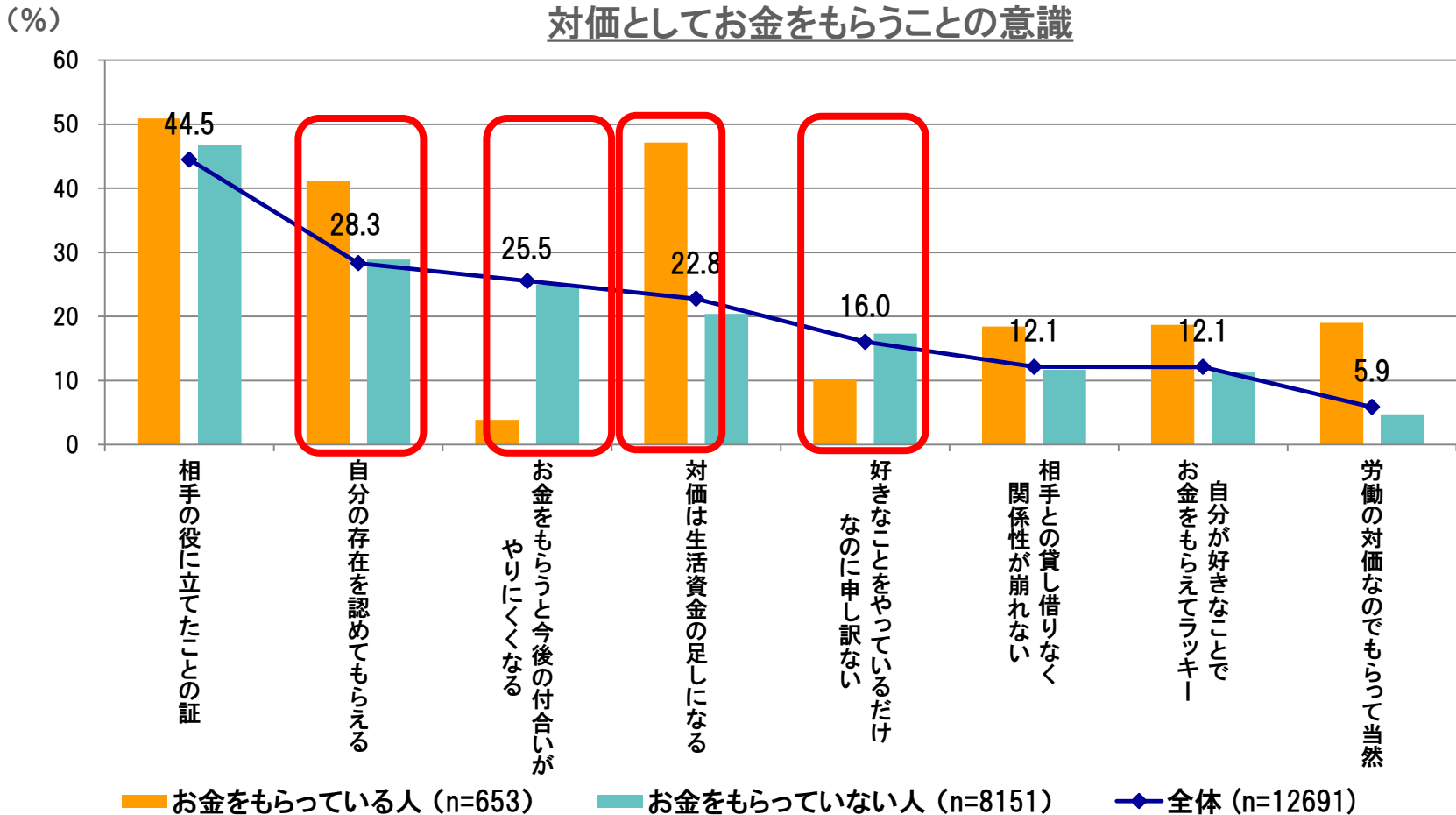
100円

知人が入院している間、定期的に郵便受けをチェックし病院に届けた。(40代女性)



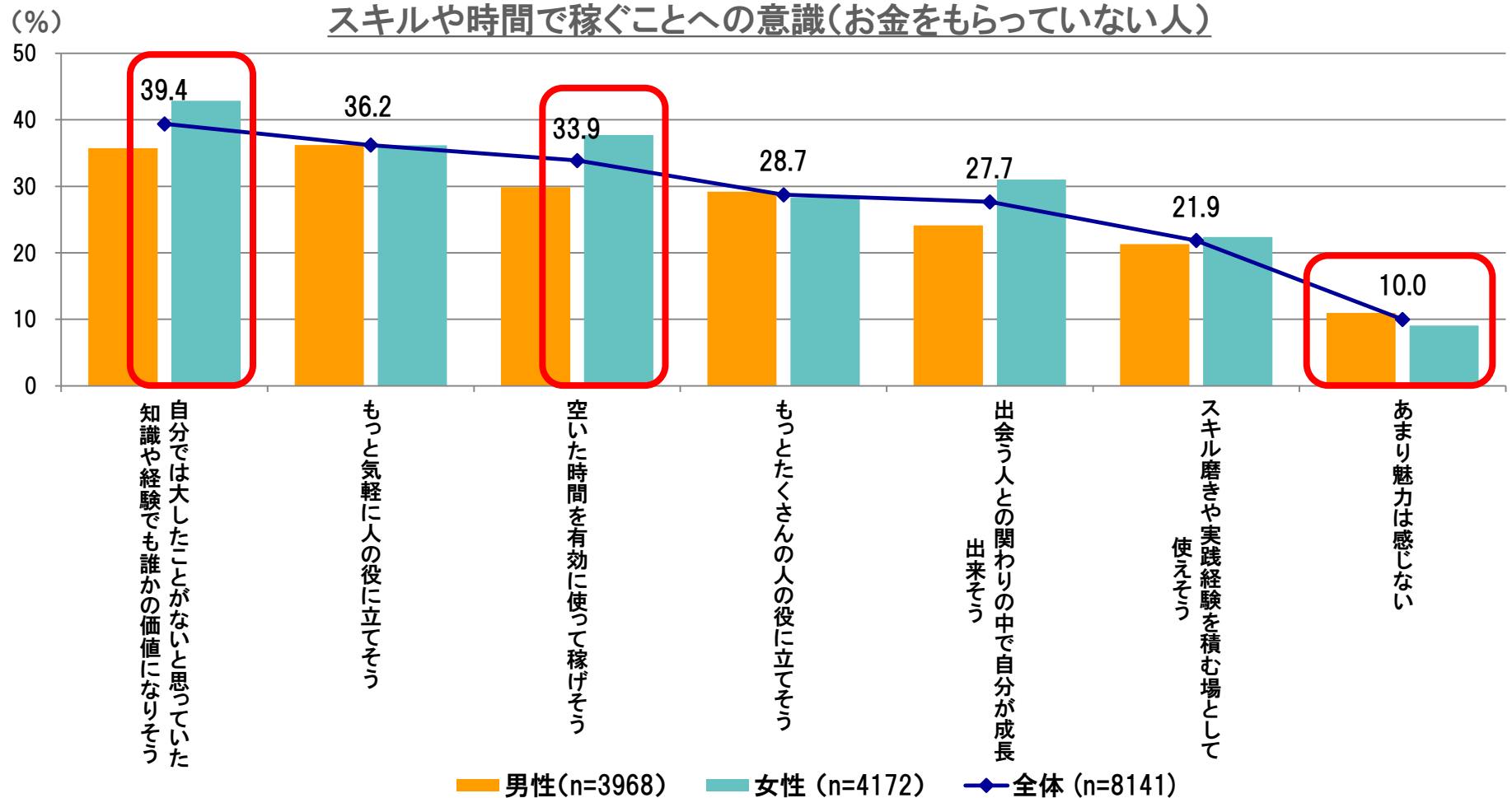
## Q.力を貸したことの対価でお金がもらえらとしたら？（対価別）

仮に報酬としてもらえるとした時の意識は、既に対価としてお金をもらっている人は、「生活資金の足しになる」「自分の存在価値を認めてもらえる」が高く、相手への想いと同時に自分のことも考えている項目が高い。一方で「対価をもらっていない人」は、相手への遠慮や謙虚な気持ちが強く、受け取らないことがうかがえる。



## Q.誰かに力を貸すことで稼げるサービスがあったとしたら？（男女別）

自分の時間や能力やスキルをマッチングして稼ぐサービスに関する魅力は、現在お金をもらっていない人でも多くの方が価値を感じており、特に「自分では大したことがないと思ったことでも誰かの価値になりそう」「空いた時間を有効に使って稼げそう」などの項目で女性が高く、魅力を感じない人は10%に留まった。



## Q.どんなことに力を貸して稼ぎたいか？（男女別）

どんなことをして稼ぎたいかでは、男女共に「話相手になってあげる」が多く、20代女性は「一緒に」ご飯を食べてあげたり、近所を散歩してあげるなど、ちょっとしたことで誰かの相手をしてあげる項目が高い。男性は、「一緒に飲みに行つてあげる」や「車を出して送り迎えしてあげる」など、自分が好きなことや出来ることで稼ぐ意向が見られた。

### 力を貸して稼ぎたいこと

